



～ 平成31年(令和元年)度学校評価から ～



謹んで新年のお喜びを申し上げます。令和最初の年末年始を皆さんはどのように過ごされたでしょうか。以下に平成31年度(令和元)のグランドデザインの重点目標、施策の達成目標についての結果を中心にお知らせします。

平成31年度(令和元)の重点目標と各目標を達成するための施策及び達成目標… **学校評価の結果%**

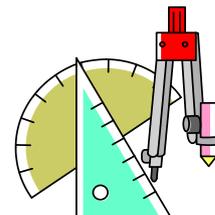
A: 「困っている人がいたら助ける」教育の実践

学校、家庭及び地域の社会総がかりで博愛の精神を身に付けた人を育てていく。
道徳教育を推進する。生徒会活動を充実させる。

(生徒：学校が楽しい H29：62%→H30：61% R1 到達目標：65%…**59%**)
(生徒：PTAや地域活動参加 H29：54%→H30：57% R1 到達目標：60%…**53%**)

B: 「ものの見方・考え方」が働く授業の実践

授業改善を一層進め、主体的・対話的で深い学びができる人を育てていく。
授業や家庭学習でICTを有効に活用する。



(全国学力・学習状況調査：国A国B数A数B：全国対比)
H29：国A上国B上数A上数B上→H30：国A上国B上数A上数B上理上
H31(R1) 目標国↑、数↑、英↑ **結果：国：極めて高い、数：極めて高い、英：極めて高い**
(生徒：成績目標達成 H29：13%→H30：10% R1 到達目標：15%…**18%**)

C: 資質と能力を培うキャリア教育の実践

教職員自身が、様々な教育の場面でキャリア教育を意識し生徒に伝えていく。

(教員：進路指導 H29：45%→H30：48% R1 到達目標：50%…**37%**)
(生徒：進路指導 H29：38%→H30：40% R1 到達目標：45%…**37%**)

Aの「困っている人がいたら助ける」教育の実践について

昨年度「学校が楽しい」と答えた生徒がやや減ったため、生徒会活動等を中心に生徒が活躍できる場をつくり、それを認めることを計画したが、今年もやや低下してしまいました。令和2年度は中西祭等を今まで以上に生徒自身の手で運営するなど生徒自身が活躍できる場を更に設定していきます。

評価としては下がってしまいましたが、「蘇鉄No.9」に掲載したように「困った人がいたら助ける」の教育はあちらこちらで花が咲いています。町内会長様、PTA会長様と共通理解を更に深めて地域の中で活躍する中学生を目指していきます。



Bの「ものの見方・考え方」が働く授業の実践について

全国学力・学習状況調査は目標値を大幅に達成することができた。(詳細は「蘇鉄 NO:6」を参照。)これは3年生の進路実績にも結びつくと思われる。本年度改良した定期テストの学習計画表が功を奏したものだと考えられる。また、「期日までに提出物を出した

り、忘れ物をしたりしないようにしている。」と答えた生徒が、H30：48%→R1：58%と10%も伸びていること、「毎日家庭学習をしている。」と答えた生徒が、H30：31%→R1：41%とこれも10%伸びていること、「電子黒板を活用した授業は分かりやすい」と答えた生徒が、H30：48%→R1：55%と7%伸びていることから、生徒や教員が「学力の向上」を意識して努力してきたことが実を結んだものと考えられる。今後も同様の取組を更に定着させていきます。

また、eライブラリへの取組も引き続き行い、Society5.0を生きる生徒たちの生きる力を育てていきます。



C:資質と能力を培うキャリア教育の実践について

この項目については、生徒、教員共に目標値を大幅に下回っている。昨年度までとほぼ同様の取組をしてはいるものの、行っている事がキャリア教育の一環であることを意識できていないことが原因の一つとして考えられる。来年度は高校の先生方を始め、専門学校、保育士等多くの皆さんを外部講師として招聘する取組を一層充実したものにしていきたい。また、Bの「ものの見方・考え方」を働かせる授業がキャリア教育になっていることを教員が共通理解し、生徒にも場面場面で話をしていくようにしていきます。



その他の表れ

1 学校が落ち着いている

「ルールやマナーを守って生活している。」と答えた生徒

H28：40%→H29：45%→H30：52%→**R1：61%**

「先生は、一人一人を大切にされた指導をしてくれる。」と答えた生徒

H28：39%→H29：43%→H30：46%→**R1：54%**

「みんなで、いじめのない学級づくりをしている。」と答えた生徒

H28：33%→H29：36%→H30：41%→**R1：48%**

「先生は、親身になって相談にのってくれる。」と答えた生徒

H28：39%→H29：44%→H30：45%→**R1：51%**



生徒たちの規範意識が高まり、いじめは絶対許さないという雰囲気学校全体がなっけてきています。教員は生徒のことを親身になって考え、生徒たちも教員を信頼していることが数字になって表れています。中郷西中学校の下駄箱を見て頂ければ学校がいかに落ち着いているか分かると思います。かかとが折れ曲がっている靴は一つもありません。かかとを踏んで歩いている生徒が一人もないということです。本年度始めた特別の教科道徳の「ローテーション授業」（担任だけが授業を行うのではなく、校長、教頭、学年主任、学年付きの担任外全員で授業を行うもので、本年度は校長、教頭も2、3年生全クラスで授業を行いました。）の成果が表れたものとも考えられます。

2 課題

「部活動や学校外での体育的活動・文化的活動等に進んで参加している。」と答えた生徒

H29：59%→H30：54%→**R1：47%**

「学校を訪れたり電話をしたりした時、先生は丁寧に対応している。」と答えた保護者

H29：72%→H30：63%→**R1：59%**

部活動は昨年に比べ、実績を挙げていますが、生徒の意識は異なるようです。短い時間で充実した部活動を目指します。また、電話対応等は丁寧に行うよう全職員で共通理解していきます。